

Ⅸ 面接におけるチェックポイント

検査全体の結果を踏まえて、面接などで確認しておきたいポイントを整理します。

Sample

①コンピテンシーごとのチェックポイント

コンピテンシー	標準 得点	面接時のポイント
現状認識力	60.2 ↑	本人が思っている以上に、現状の課題を正しく認識し、何をなすべきかということ捉える能力を持っています。 自分のやりたいことを明確に把握しているかどうか、確認してみましょう。
ビジョン創出力	41.8 —	このコンピテンシーについては、検査結果と現実の行動レベルはそれほど相違がないでしょう。
達成行動力	54.7 —	このコンピテンシーについては、検査結果と現実の行動レベルはそれほど相違がないでしょう。
自己管理能力	60.2 —	このコンピテンシーについては、検査結果と現実の行動レベルはそれほど相違がないでしょう。
メンタルタフネス	41.8 ↑	本人が思っている以上に、もっと気持ちの切り替えが上手くできる能力を持っています。 予想外のできごとにも冷静に対処できるかどうか、確認してみましょう。
人間関係構築力	54.7 ↓	本人が思っているよりは、他人が何を感じ、考えているのかをうまく観察したり、理解できていない可能性があります。 人間関係づくりに対する姿勢や具体的な行動について確認してみましょう。
コミュニケーション力	41.8 —	このコンピテンシーについては、検査結果と現実の行動レベルはそれほど相違がないで予想外のできごとにも冷静に対処できるかどうか、確認してみましょう。
組織適応力	54.7 ↑	本人が思っているよりは、自分の行動を他者の期待に沿った形で調整できる能力を持っています。 集団の場での自分の行動について、周囲を上手く活用しながら行動できているかどうか、確認してみましょう。

②その他のチェックポイント

- p web受検時の状態と筆記試験の状態とに変化が見られます。その間に何か心理的な変化がなかったか、強い衝撃を与えるような出来事に遭わなかったか、どのような状態で検査を受検したかを確認すると良いでしょう。
- p 感情面において繊細なところがあり、ストレスやネガティブな出来事に対する耐性は低い可能性があります。これまでにストレスと感じたことに対して、どのように対処してきたかを確認すると良いでしょう。
- p 物事をやや悲観的に捉える傾向があるか、または受検時にやや否定的な感情を抱いていた可能性があります。面接時の応答で確認すると良いでしょう。

※E-SSTのご利用につきましては、「ご利用の手引き」をご覧ください。
人材の観察から育成まで 効果的にご利用ください。



Copyright©: TZC EQ Japan, Inc. All Rights Reserved

Ⅰ 総合結果

		標準得点	段階	20	30	40	50	60	70	80	順位
総合	EQ	61.8	4	<div></div>							67/150
	コンピテンシー	55.2	4	<div></div>							79/150
	知的能力	46.4	3	<div></div>							139/150

Ⅱ EQ

		標準得点	段階	20	30	40	50	60	70	80	順位
EQ	総合	61.8	4	<div></div>							32/150
	感情の識別	62.6	4	<div></div>							21/150
	感情の利用	68.9	5	<div></div>							9/150
	感情の理解	50.1	3	<div></div>							76/150
	感情の調整	59.1	4	<div></div>							53/150

Ⅲ コンピテンシー

コンピテンシー		標準得点	段階	20	30	40	50	60	70	80	順位
	総合	55.2	3	<div><div></div></div>							74/150
	現状認識力	60.2	4	<div><div></div></div>							36/150
	ビジョン創出力	41.8	2	<div><div></div></div>							108/150
	達成行動力	54.7	3	<div><div></div></div>							67/150
	自己管理能力	60.2 *	4	<div><div></div></div>							54/150
	メンタルタフネス	41.8	2	<div><div></div></div>							93/150
	人間関係構築力	54.7	3	<div><div></div></div>							67/150
	コミュニケーション力	41.8	2	<div><div></div></div>							97/150
	組織適応力	54.7	3	<div><div></div></div>							56/150

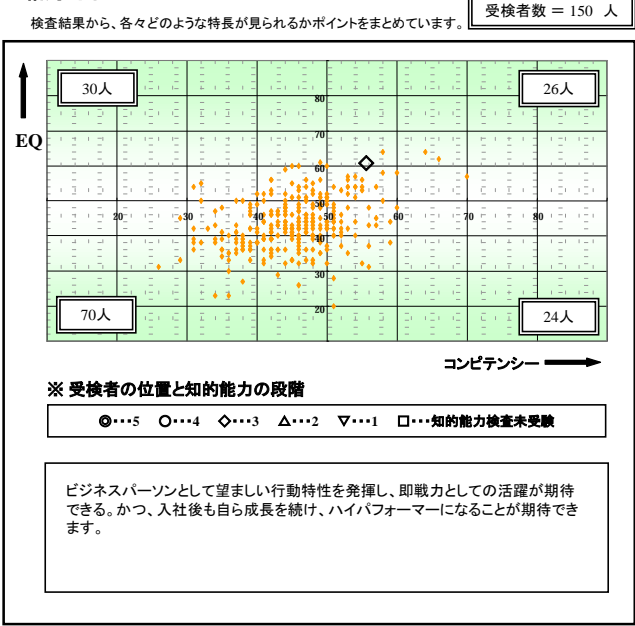
Ⅳ 知的能力

		標準得点	段階	20	30	40	50	60	70	80	順位
知的能力	総合	46.4	3	<div></div>							95/150
	言語・論理	53.2	3	<div></div>							79/150
	数理・推論	31.4	1	<div></div>							89/150

Ⅴ 受検者の特徴

相手の表情から、その人がどのように感じているかを読みとったり、その場の持つ雰囲気がある程度認識することができます。相手や周りの人々の気持ちや考えは何かを、ある程度正しく理解することができる能力を備えています。
課題達成のために、自らのやる気を起こしたり、仕事効率的に行えるような感情を、作り出すことができます。また、相手の感情を同じように感じ、共感を示すこともできます。状況によっては他人をやる気にさせたり、顧客や重要人物の注意を引き付けけるような、情緒的なアプローチを取ることもできますよう。
相手がなぜそのように感じるのか、感情の起こる原因がある程度理解できます。また、場合によっては、ある状況が起こった時に、相手がどのように感じるであろうと推測することができます。現在ではそれほど大したことではないトラブルでも、そのままにしておくと相手の感情がネガティブになる可能性があることをある程度理解して、先手を打った行動を取ったり、人間関係を保持することもできますよう。
感情的になった場面でも、問題や課題を解決するためにどんな行動を取ればよいのかを考えた上で、行動を取ることができます。場合によっては、対人関係を維持したり、対人問題を解決するために、相手や状況に応じた行動を取ることもできます。その結果、持っている知識やスキルを、仕事や人間関係に適用し、自分の感情を調整しながら、仕事を進めることができるでしょう。

Ⅵ 相対的ポジション



Ⅶ 職種適合率

それぞれの職種に対する適合度合いを10段階で表示しています。

職種内容	適合度
A 人間関係をつくりながら、自分の意見を伝えて、相手を説得する仕事	★★★
B 専門領域に関する知識やスキルを使って、他の人のサポートをする仕事	★★★★
C 自分の裁量が大きく、全体の流れを管理する仕事	★★
D 思いやりや心遣いの大切な、対人サービスを提供する仕事	★★★★★
E 仲間と協力して、物を製作したり生産する、活動的な仕事	★★★★★
F アイデアや発想を生み出し、それを形にする仕事	★
G 情報を収集したり、複雑な物事をまとめたりして問題解決を図る仕事	★★
H データの解析や研究開発などの、高度な専門知識が必要とされる仕事	★★★★

※ 適合率は1～10の段階で「★」または「★」で表され、「★★★★★」が「該当職種に最適」であることを示します。

Ⅷ 応答態度

回答に飾ったところが見られないか、一貫性があるかを示しています。

応答態度	比較的素直に回答しています
Web受検との比較(一貫性)	Web受検の結果と差が見られるようです